



消費税をなくす東京の会

〒105-0053 港区芝1-4-9 平和会館6階

Tel 03 (6273) 2047 Fax 03 (6273) 2048

E-mail : t_nakusu@hotmail.com

会員拡大と活動の強化で増税許さぬ大きな力を 初めての世話人・合同会議開く



世話人・合同会議で、杵淵智子全国の会前事務局長(写真右、立っている人の報告を熱心に聴く参加者。

3日間の行動参加者は延べ55人で、意見ボスターの合計貼りだし枚数は26枚でした。また、国会請願署名や入会署名は94筆で、なくす会への入会は74人でした。

ポスターの貼り出しについて
は、情勢を反映してか気持ちよ
く張って頂けました。特に21日
は、商店街を訪問すると既に貼
り出している商店もあり、行動
はわずか1張時間半でしたが、
11軒の商店で貼り出してもらいま



いていてくれる人もいて、この時期の宣伝がとても重要なのを感じました。正に国民の要求に寄り添つた宣伝であったと思います。

終了後の打合せで、貼り出して頂いた商店にお礼状を届けようということになり、再度一件ずつお札状を持って訪問することになりました。

台東の会事務局長・山田 和江
(写真中央右のマスクの人)

歩くのが困難な八王子の鳥羽さんは、「いる」と最近の経験を紹介しました。車をお持ちの野崎さんご夫妻といつしょに参加しました。

鳥羽さんは、「久しぶりにみんなの顔が見られてうれしい」と前置きして、「街頭の宣伝では、麻生首相の『3年後には消費税を上げる』とおりに挑戦した」と語りました。

大田の佐伯さんは、毎年恒例で上りくんでいる池上本門寺の梅祭り(2月)とお彼岸(3月)にあわせた宣伝・署名を大規模にとりくむとともに、「NO消費税」の読者を増やすことで、地域の草の根の会つての発言以後、署名数がぐっと増えた。

台東の会が3日間、ポスター貼りと宣伝署名

【台東】消費税をなくす台東の会ました。は、2月11日、15日、21日の3日消費税の増税については、商店主にわたつて意見ボスターの貼りだしと増税反対署名などとくみ、なくす会への入会を訴えました。

名も気持ちよくしていただきました私たちの宣伝を立ち止まって聞



東京の会は、2月6日に「世話人合同会議」拡大常任会議を開き、24人が参加しました。これは、昨年12月22日付けで発表された全国の会のアピールを具体化するためです。

会議には、杵淵智子・全国の会前事務局長が出席、情熱の特徴とアピールの趣旨について語りました。

会議は、自己紹介ではじまつた。

増税勢力にはボディーブローとなつて、悪政批判の声を上げていて響いているのは間違いない」と宣言しました。伝の意義を強調しました。

会議は、自己紹介ではじましたのですが、期せずして全員が席の順に活動体験を語りつて交流する結果となりました。すべてを「紹介するスペースがありませんので、特徴的な発言を順不同で」紹介します。

経験を紹介しました。墓石の松田さんは、1月の定例会には、毎年恒例でと伝には40人を超えるみなさんがあり、上本門寺の梅祭り 加し、「増税反対の意気込みを示す」と(3月)にあわせた。こうした草の根でのとりくみが

税理士である台東の千葉さんは、は「新聞にも『ondon』投書も送り、顧問先の業者の窮状に触れ、銀行の年末の派遣村のところみのよう融資を受けるために、無理して納税しよう」と考へている例もある」として、「一人で考え込んでいると、マスクの宣伝に負けて、自分が悪いから」と考へがちになる。会員1人がメディアになって」は、参加者の1人がメディア(情報発信者)に共通の決意となりました。

